Print Server N01
キャリブレーションガイド

プリンターでプリントされる色は、使用環境やプリント枚数などによって変化します。プリンター本体でも、このような変化を補正する機能を持っていますが、Print Serverのキャリブレーションを使用すると、さらに精度の高い補正ができます。

このガイドは、キャリブレーションの基本的な操作だけを記載しています。
キャリブレーションの詳しい操作については、『Print Server N01ユーザーズガイド運用編』の「2.2 キャリブレーションで色を補正する」を参照してください。

※測色器キャリブレーションで使用する測色器は、オプションです。

効果的なキャリブレーションの実施ポイント

DocuPrint C5000 dは、当社の推奨する温度や湿度、用紙銘柄で、安定した色再現性能を発揮します。ただし、実際には、室内環境（温度・湿度）の変化や使用する用紙の切り替えの影響により、プリントされる色はわずかに変化することがあります。
このような色の変化を補正するときは、Print Serverでキャリブレーションを実施してください。
厳密に色の安定・再現を必要とする場合に、効果的なキャリブレーションの実施ポイントを、以下に紹介します。

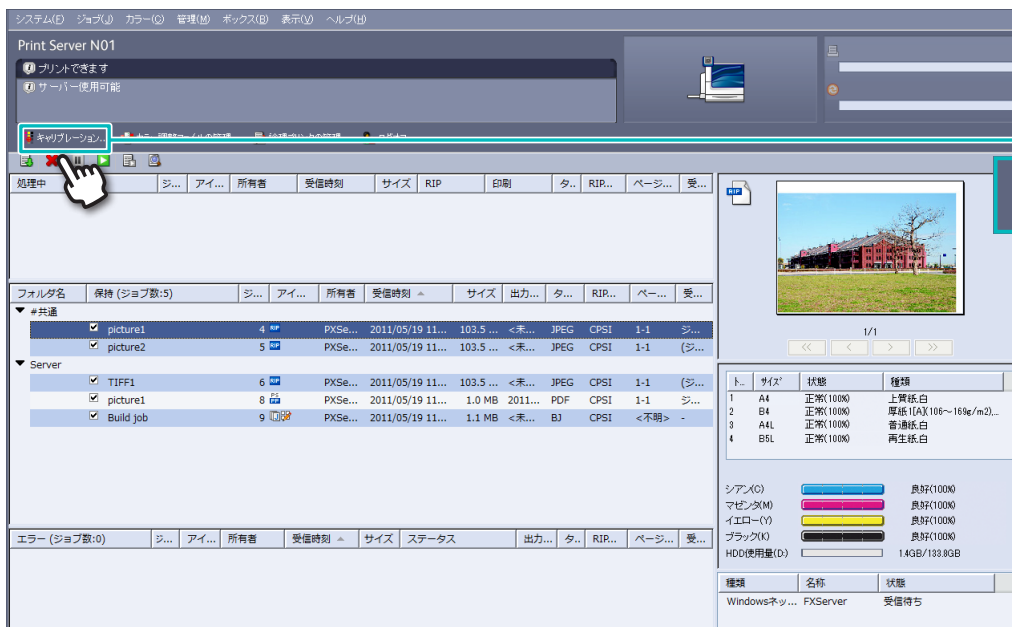
室内環境（温度・湿度）が安定した状態で、プリントしてください

- 夏季や冬季に空調設備を始動した直後は、室内環境が急激に変化するため、プリントされる色が変化することがあります。
室内環境が安定したあと、プリントしてください。

使用する用紙を切り替えるとき、一定期間後に再プリントするときは、キャリブレーションを実施してください

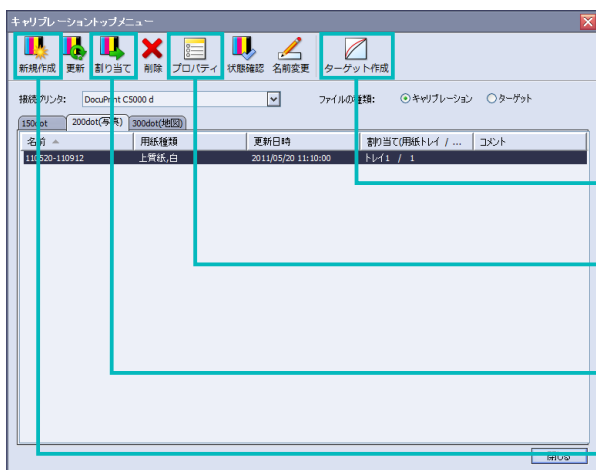
- 用紙そのものの色味の違いや、用紙表面の加工処理の違いによって、プリントされる色に影響が出ます。
使用する用紙を切り替えるときにキャリブレーションを実施すると、より厳密な色の安定・再現につながります。
- 同じ用紙銘柄を使用するときでも、一定期間後に再プリントするジョブの場合、再度キャリブレーションを実施すると、より厳密な色の安定・再現につながります。

1 キャリブレーションメニュー

1

ServerManagerの[キャリブレーション]をクリックします。

[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

補足

[カラー]メニューから[キャリブレーション]を選択しても、[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスを表示できます。

2

リストからファイルを選択し、目的のボタンをクリックします。

それぞれのダイアログボックスが表示されます。

補足

[更新] ・・・・・・・ 作成済みのキャリブレーションファイルの名称や割り当て状態を変更せずに、内容を更新できます。
[削除] ・・・・・・・ 作成済みのキャリブレーションファイルやキャリブレーションターゲットファイルを削除できます。
[状態確認] ・・・ キャリブレーション結果がターゲットに対してどれだけ一致しているかを確認できます。
[名前変更] ・・・ 作成済みのキャリブレーションファイルの名称を変更できます。

2 キャリブレーションファイルの新規作成

1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 1～2

2 キャリブレーションの方法を選択します。

3 測色器キャリブレーション(i1+i1_Reader、またはi1iO+MeasureTool)を実施します。 3

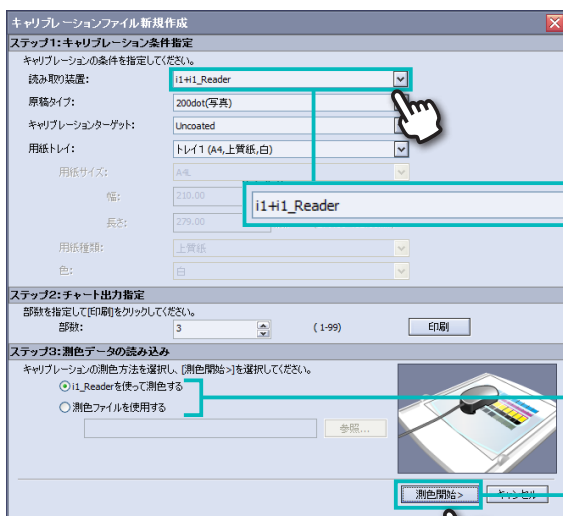
4 読み取り(測色)が終了し、[キャリブレーション結果表示]ダイアログボックスが表示されたら、[作成]をクリックします。
[キャリブレーションの保存と割り当て]ダイアログボックスが表示されます。

5

3 操作手順

i1+i1_Readerの場合

1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 1〜2

2

①[i1+i1_Reader]を選択します。

②測色方法を選択します。
[測色ファイルを使用する]を選択したときは、[参照]をクリックして測色ファイルを選択します。

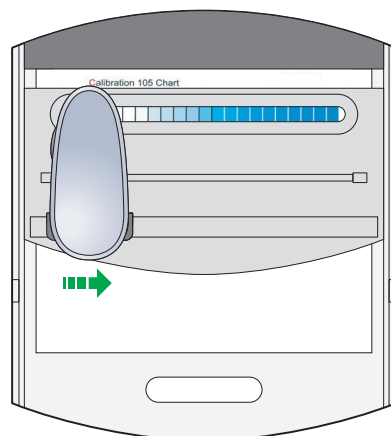
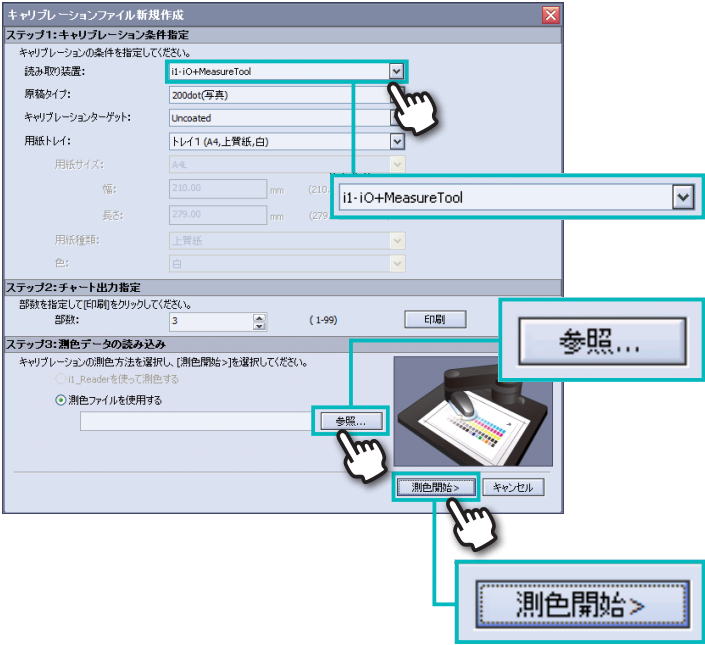
測色開始＞

③[測色開始]をクリックします。
[i1_Readerを使って測色する]を選択したときは、i1_Readerが起動します。

3

[測色開始]をクリックします。

測色方法については、『Print Server N01ユーザーズガイド運用編』の「2.2.3 i1_Readerと測色器」を参照してください。

4

測色データの読み込みが終了すると、[キャリブレーション結果表示]ダイアログボックスが表示されます。

5 キャリブレーションファイルを保存します。 2 ／ 4〜5

i1iO+MeasureToolの場合

1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 1～2

2

①[i1iO+MeasureTool]を選択します。

②[参照]をクリックして、測色ファイルを選択します。

③[測色開始]をクリックします。

参照
測色方法については、『Print Server N01ユーザーズガイド運用編』の「2.2.3 i1_Readerと測色器」を参照してください。

3 キャリブレーションファイルを保存します。 2 ／ 4～5

4 キャリブレーションファイルの操作

ファイルの割り当て

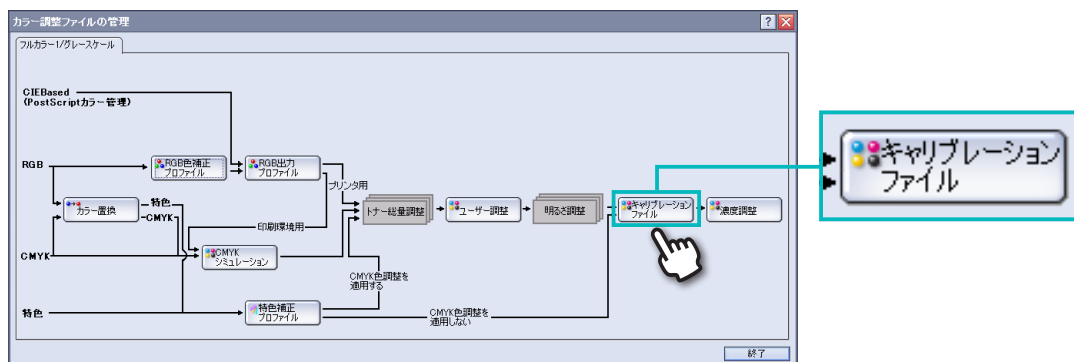
［カラー調整ファイルの管理］ダイアログボックスから、キャリブレーションファイルの設定1～100にファイルを割り当てることができます。
作成したキャリブレーションファイルをPrint Serverに登録すると、プリント時にプリントオプションから選択できます。

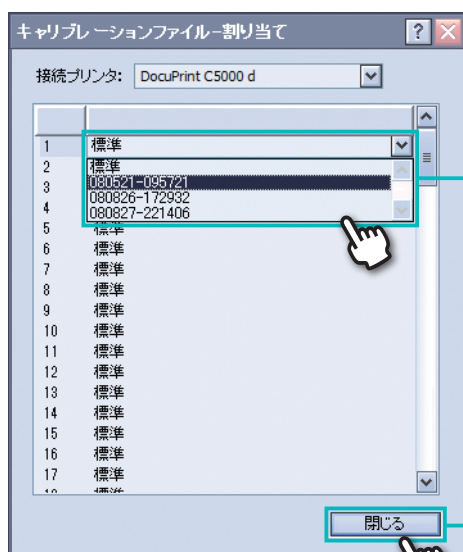
1 ServerManagerの［カラー調整ファイルの管理］をクリックします。

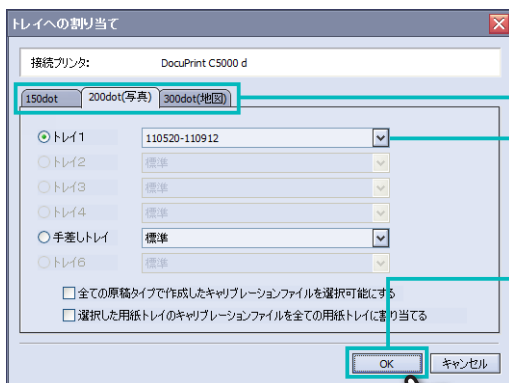
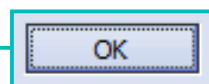
［カラー調整ファイルの管理］ダイアログボックスが表示されます。

補足

［カラー］メニューから［カラー調整ファイルの管理］を選択しても、［カラー調整ファイルの管理］ダイアログボックスを表示できます。

2

［キャリブレーションファイル］をクリックします。

［キャリブレーションファイル-割り当て］ダイアログボックスが表示されます。

ファイルの用紙トレイへの割り当て

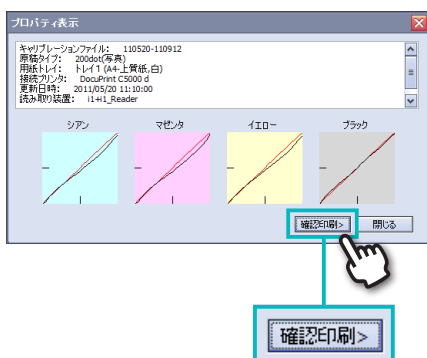
1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[割り当て]をクリックします。
[トレイへの割り当て]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 1～2

2

補足

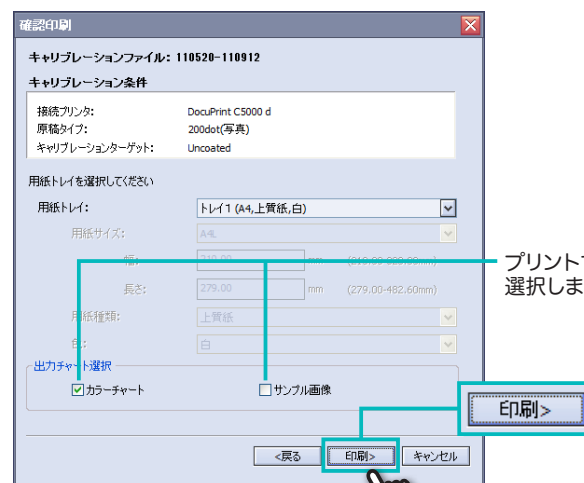
・[全ての原稿タイプで作成したキャリブレーションファイルを選択可能にする]
チェックマークを付けると、すべての原稿タイプで、すべてのキャリブレーションファイルが割り当て可能になります。チェックマークを外すと、ほかの原稿タイプで作成されたキャリブレーションファイルが割り当てられている用紙トレイには、[標準]が割り当てられます。
・[選択した用紙トレイのキャリブレーションファイルを全ての用紙トレイに割り当てる]
チェックマークを付けると、選択している用紙トレイに割り当てられているキャリブレーションファイルがすべての用紙トレイに割り当てられます。

キャリブレーション結果確認用サンプルプリント

1 確認するキャリブレーションファイルを[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスのリストから選択します。 1 ／ 1～2

2 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ表示]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 2

3

[確認印刷]をクリックします。
[確認印刷]ダイアログボックスが表示されます。

4

[印刷]をクリックします。
キャリブレーション適用前と適用後のサンプルがプリントされます。

ターゲットファイルの作成

プリントで使用する用紙専用のキャリブレーションターゲットファイルを作成できます。
作成したターゲットファイルは、キャリブレーションファイルを作成するときに、[キャリブレーションターゲット]で選択できます。

1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[ターゲット作成]をクリックします。

[キャリブレーションターゲット新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 1 ／ 1～2

2

①読み取り装置を選択します。

②原稿タイプと用紙トレイを選択します。

③ターゲット作成用チャートをプリントします。

④[i1_Readerを使って測色する]、または[測色ファイルを使用する]を選択します。 3 ／ 2

補足

[i1iO+MeasureTool]を選択したときは、[i1_Readerを使って測色する]を選択することはできません。

測色開始 >

⑤[測色開始]をクリックします。 2 ／ 4

3

ファイル名とファイルコメントを入力します。

保存

[保存]をクリックします。

Print Server N01 キャリブレーションガイド

著作者―富士ゼロックス株式会社
発行者―富士ゼロックス株式会社

発行年月 ― 2011年 7月 第1版
ME5444J1-1